



これでばっちりQubena上手

1 Qに学習アプリQubenaの使い方について通信を書きました。現在ひとりでコースの子を中心に多くの子がQubenaで学習に取り組んでいます。

Qubenaの利用について、ここ何年か試行錯誤してきましたが、今の時点で実感しているメリット/デメリットは次の通りです。

メリット

- ・教科書の単元、内容を網羅している
- ・図が多く視覚的に理解しやすい
- ・ヒント、解説があり予習に向いている
- ・正解、不正解がすぐに分かる
- ・文章題に慣れることができる
- ・各単元の問題量が十分にある
- ・つまずきがあれば前学年の復習ができる
- ・理解できている内容は次の学年へ進める

デメリット

- ・特に筆算などの計算が書きにくい
- ・穴埋めが理解しにくいところがある
- ・基礎計算の反復練習には向いていない
- ・単調で子どもだけで取り組んでいると、飽きたり作業的になったりする

今回は赤字の部分についてお伝えさせていただきます。黒字については、前回の通信に載っている部分も多いのでこちらをご覧ください

(13号「キュビナと使い方」 <https://blog.seto-solan.ed.jp/?p=9194>)

Qubenaは、算数の教科書に載っている全ての単元、その中の全ての内容と問題をカバーしています。ヒント、解説もあるし、間違えたら何度でも繰り返し解くことができるので、もしも完璧に扱うことができれば、子どもが一人で中学3年生の数学まで学習することすら可能です。

ただ、問題をひたすら解いていくという単調な作業を続けていると、ほとんどの子はいつか飽きてしまいます。そうならないためには、低～中学年のうちは、「いつ、どの単元に」「どのように取り組むのか」を調整してあげることが必要だと私は考えています。

適切なタイミングで、適切な内容に取り組めば、飽きてしまったり作業的になってしまったりすることはありません。それどころか、自立して学習するよさを感じ、意欲を高め、自信をもつこともできます。

「いつ、どの単元に」

その時期に学校で学習している単元に取り組むのが一番よいでしょう。Qubenaは予習に向いています。

例えば授業で、「これを直角と言います」と習うときも、「それQubenaでやったから分かる!」となっていると、理解も深まりやすいです。できる、分かる、知っているというのは子どもにとって自信と意欲に繋がるのでおすすめです。

あらかじめつまずきポイントを押さえておけば、授業の学習効果も高まります。

「どのように取り組むのか」

まずはその単元に取り組んでみて、出てきた結果を見てみます。

- ・C,Dがいくつもある・・・前学年の同系統の内容に戻って、復習しましょう。
- ・B,Cがいくつかある・・・B,Cがなくなるように、繰り返し解き直しましょう。
- ・全てAになっている・・・同系統の次の内容、次の学年の内容に進みましょう。

学校の授業の単元が次に進むまでは、前学年でも次学年でもいいので、同系統の内容に取り組んでいる方が学習効果が高いです。次の学年の学習をしていることは、自信と意欲にも繋がります。

ただ同系統の内容というのは、算数教育への知識と経験がなければ把握は難しいので、私が授業の中で子どもに伝えたり、スケジュール表で保護者の皆様にお伝えするようにしています。以下が小2と小3の同系統の内容をまとめた表です。

お手製ですが、非常によい表になっていると思います。

表とグラフ 2年「1. ひょうとグラフ」 3年「6. 表とグラフ」	たし算とひき算の筆算 超重要！ 2年「4. たし算とひき算の筆算（1）」 2年「8. たし算とひき算の筆算（2）」 3年「3. たし算とひき算の筆算」
時計※1 つまづきがとても多い 1年「4. なんじなんじはん」 1年「10. なんじなんぷん」 2年「2. 時こくと時間」 3年「4. 時こくと時間」	数の組み立て 2年「6. 100をこえる数」 2年「14. 1000をこえる数」 3年「5. 一万をこえる数」 3年「16. 小数」
図と立式、式と計算※2 重要！ 1年「11. たすのかなひくのかな」 2年「5. ほうかごなにする」 2年「9. しきと計算」 3年「11. 何倍でしょう」 3年「12. 計算のじゅんじょ」 3年「18. □を使った式」	かけ算※3 超重要！ 2年「10. かけ算（1）」 2年「11. かけ算（2）」 2年「17. 計算れんしゅうもんだい」 3年「1. 九九の表とかけ算」 3年「2. わり算」 3年「8. あまりのあるわり算」 3年「13. 1けたをかけるかけ算の筆算」 3年「17. 2けたをかけるかけ算の筆算」 3年「19. 計算練習問題」
分数 2年「16. 分数」 3年「14. 分数」	
図形 2年「12. 三角形と四角形」 2年「15. はこの形」 3年「10. 円と球」 3年「15. 三角形」	測定単元（長さ、かさ、重さ） 2年「3. 長さ」 2年「13. 100cmをこえる長さ」 2年「7. かさ」 3年「7. 長さ」 3年「9. 重さ」

※1・・・時計の単元は2年生が一番難しい内容です。そして、難しいと感じている子の多くは、1年生の内容で分からないところがあるので、戻って復習することが重要です。

※2・・・図と立式、式と計算もつまづきが多い内容です。「単純な計算はできるけど、文章題になると間違える」という子は、どの学年でも多いです。2年生から文章→図→式→計算の手順を身に付けたいです。

※3・・・4月からお伝えしてきたように、かけ算は3年生はもちろん、4年生以降でも非常に重要です。発展内容の多さからもそのことがよく分かります。ばらばら九九だけでなく、穴あき九九までできるように繰り返し練習しましょう。

もちろん4年生から先も同系統の内容があります。問題はもちろん難しくなりますが、十分4年生の内容に進める子もいます。（現在学年で3名ほどいます）

「次にどれに取り組んだらいいの？」と思われた際は、ぜひ岩本にご質問ください。